

2018年度 学校法人辻料理学館
辻調理師専門学校 辻製菓専門学校 学校関係者評価委員会

報告書	
日 時	2018年12月1日(土) 14時00分～16時00分
場 所	辻調理師専門学校 本館2階 教室
出席者	<p>【学校関係者評価委員】</p> <p><u>第1号委員 在校生保護者</u> 國友 清恵 (辻製菓専門学校 在校生 保護者) 田口 理恵子 (辻調理師専門学校 在校生 保護者)</p> <p><u>第2号委員 卒業生委員</u> 伏木 和毅 (株式会社日総フーズサービス 代表取締役) 結野 安雄 (株式会社和光庵 常務取締役 総料理長)</p> <p><u>第3号委員 業界関係者</u> 富澤 利加 (株式会社 HRO ハイアットリージェンシー大阪 人事部 部長) 辻岡 久味 (株式会社ホテルグランヴィア大阪 総務部 総務課 マネージャー)</p> <p><u>第4号委員 高等学校関係者</u> 銀杏 久子 (学校法人淀之水学院 昇陽高等学校 進路指導部長) 山下 善啓 (大和高田市立高田商業高等学校 進路指導部長)</p> <p><u>第5号委員 地域有識者</u> 稲村 健 (株式会社りそな銀行 阿倍野橋支店 オフィサー) *委員長 山崎 弘樹 (株式会社奥村組 関西支店 リニューアル営業グループ長) *副委員長</p> <hr/> <p>【学校側出席者】 辻 芳樹 (辻調理師専門学校/辻製菓専門学校 校長) 棟方 浩一 (学校法人辻料理学館 法人本部 本部長) 尾崎 一正 (辻調理師専門学校 教職員代表) 稲垣 周治 (辻製菓専門学校 教職員代表)</p>
議 題	自己点検・評価結果について
議事次第	1. 開会 2. 委員紹介 3. 校長あいさつ 4. 委員長等の選出 5. 議事 自己点検・評価結果報告 (法人本部長、各校教職員代表) (1) 教育理念・目的 (2) 関係法令の規程・基準への適合 (3) 基本指標 (4) 教育(カリキュラム、授業計画、教職員研修) (5) 就職 (6) 組織・管理運営 (7) 学生の受け入れ (8) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献 (9) 財務 意見交換 自己点検・評価に対する意見・提言等 7. 校長あいさつ 6. 閉会

評価	意見・要望
(1) 教育理念・目的	
建学の精神のもと、教育理念、将来構想を掲げ、調理師および製菓衛生師の養成に積極的に取り組んでいる。	
(2) 関係法令の規程・基準への適合	
関係法令を遵守し、適切に学校運営がなされている。	「施設設備等」について、5か年の中期修繕計画に基づき、予算措置を講じて計画的に進めることを期待する。
(3) 基本指標	
辻調理師専門学校、辻製菓専門学校ともに「在学率・退学率」、「出席率」、「就職率」等については、年度の目標数値を達成すべく改善措置が求められる。	<p>専門学校と高校が生徒の成績や出席状況などを共有し、共に支援する連携体制の構築を望む。</p> <p>AO入試の合格者は卒業までの間を目的なく過ごしてしまうと、進学後に進路変更する可能性がある。</p> <p>AO入試合格者に対して、入学前教育の課題を与え、体験授業やレポート提出を課すなど生徒のモチベーションを維持させる仕組みの構築を望む。</p>
(4) 教育(カリキュラム、授業計画、教職員研修)	
教育活動においては、教育課程編成委員会の意見を反映しながらカリキュラム改善に取り組み、また、教職員のFD研修にも積極的に取り組むなど、一定の評価ができる。	<p>最近では作業工程で想定外のことが起こると対応できない子が増え、店として即戦力となる人材を求めることが難しい。学校には臨機応変な対応力が身に付くような教育を望む。</p> <p>インターンシップは学生にとって企業を知る良い機会である。</p>
(6) 就職	
就職率については、目標を達成できた学科が辻調理師専門学校 調理技術マネジメント学科のみで、中には目標よりも10%低い学科もあるため、原因の分析と対応策が求められる。	<p>欠勤の連絡にメールやラインを使用する子が増えているが、声を聞くことで詳しく体調を知ることができる。一方通行ではなく相互にやりとりができるよう社会人としてのビジネスマナーを教えていただきたい。</p> <p>離職後に業界から去ることなく同業に転職できるような支援体制の構築を学校に望む。</p> <p>学生が企業に求める内容は変わってきている。学生は働く上で何を重視し、何を知りたいのか。学校と企業で情報交換しながら早期離職の防止に努めたい。</p> <p>習得したビジネスマナーをホテルでどう生かすかという点において、学校と企業による「協働」の必要性を感じた。</p> <p>「学生」と「学校」と「企業」の三者が同じ方向を向くことが大切である。</p> <p>今の子供は何でもネット検索で情報収集するが、実体験が一番大切だと思う。収集した情報をどのように整理し活用するか、親として見守りながら進路選択を支援したい。</p>

(7) 組織・管理運営	
学校法人の理事会を中心に、意思決定の組織が形成され、それぞれが適正に運営されている。	
(8) 学生の受け入れ	
入学選考委員会が組織され、学生の募集、選考については適宜検討がなされ、コンプライアンスを遵守し、適正に運営されている。	<p>辻の学校の取組みをもっと表に打ち出せないか。辻の教育の素晴らしさをアナウンスする機会が増えれば、高校の教員も知ることができ、学生数の増加にもつながると思う。</p> <p>調理・製菓における辻の技術教育の凄さは周知のことで、高等学校との連携教育の中でも生徒は緊張感を持って取り組んでいる。ただ、基礎学力において生徒が気を抜きがちであるため、基礎学力を定着させるために高専接続の形で高等学校が協力できることはないか。</p>
(9) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献	
地方公共団体と連携して地方創生や町おこしに貢献するほか、世界規模の料理コンクールの審査や会場提供による運営協力を行うなど、学校の教育資源を活かした社会・地域貢献の活動は一定の評価に値する。	
(10) 財務	
収支の均衡を図るべく、改善が求められる。	

作成日 2018年12月10日